

研究タイトル：

# 安全・安心な交通まちづくりの計画と評価



氏名：川端光昭 / KAWABATA Mitsuaki E-mail: kawabata@gifu-nct.ac.jp

職名：准教授 学位：博士(工学)

所属学会・協会：土木学会、都市計画学会、交通工学研究会、農村計画学会 ほか

キーワード：地域公共交通計画、交通需要マネジメント、公共受容、地域活性化

技術相談  
提供可能技術：  
 ・交通行動データ及び意識データのモデル化  
 ・アンケート調査設計及びデータ分析  
 ・地方都市における地域公共交通計画  
 ・視線解析技術(主として撮影した写真や動画データの屋内解析)

## 研究内容：安全・安心な交通まちづくりの計画と評価

### ■ 地域公共交通のあり方に関する検討【交通計画】

持続可能な地域公共交通ネットワークの構築は、地方都市において共通の課題となっています。この課題に対応するため、以下のような視点で研究を行っています。

#### (1) 交通行動モデルの構築

潜在的ニーズにも対応し得る地域公共交通ネットワークのあり方を検討するため、個人属性や地域特性が公共交通利用に及ぼす影響を離散選択モデル等を援用し分析しています。

#### (2) 合意形成モデルの構築

円滑な合意形成のあり方を検討するため、意識調査データを活用し、ある集団の任意の政策に対する賛同率が、その集団に属する個人の肯定的態度に及ぼす影響の分析、あるいは合意形成プロセスの因果構造モデルの構築などを行っています。

#### (3) 公共交通サービスのオプション価値計測

公共交通サービスの経済的価値は利用価値のみに着目されてきました。しかし、公共交通には存在価値やオプション価値など従来計測されなかった経済的価値が存在することも知られています。そこで、公共交通サービスの経済的価値を適切に評価するため、直接的利用価値以外の便益額の計測手法を研究しています。

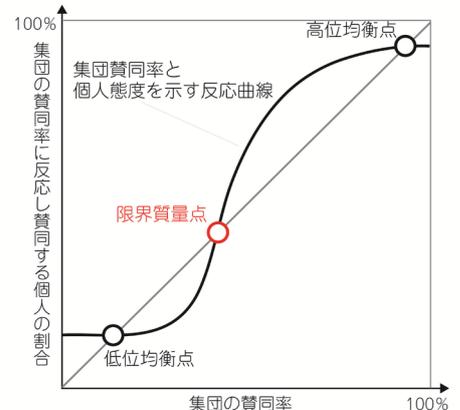


図 集団の賛同率が個人の肯定的態度に及ぼす影響の概念図

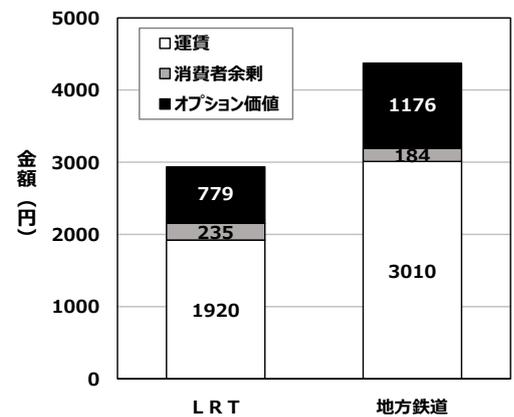


図 鉄道のオプション価値計測事例

### ■ 事故・渋滞の交通対策及び地域活性化方策の検討【地域計画】

上記のほか、イベント時の交通円滑化対策、交通安全対策、および道の駅等を活用した地域活性化方策の検討などに取り組んでいます。

### 提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)	
SPSS Statistics ver.25 / IBM 社: 統計解析パッケージ	
SPSS Amos ver.25 / IBM 社: 統計解析パッケージ	
Talk Eye Lite / 竹井機器工業(株): 視線解析機器	